

アジアに視線を向けると未来の可能性は大きく広がるよ。



空



海

新港ふ頭9号10号岸壁 クルーズ
[公共国際コンテナターミナル] 第2バース(予定)
那覇港総合物流センター
新港ふ頭7号岸壁
泊ふ頭8号岸壁
[那覇クルーズターミナル]
那覇港
新石垣空港国際線旅客ターミナルビル
(提供/石垣空港ターミナル株式会社)
下地島空港旅客ターミナル完成予想図
(提供/三菱地所株式会社)

例1 玄関口の整備

国際競争力のある物流拠点となるには、スピードと品質、そして独自の付加価値が求められます。また、急増する海外観光客を受け入れるためには、旅客機の増便に対応できる滑走路やターミナルビルと、大型クルーズ船が寄港できる港が必要です。そのため、空と海の玄関口の整備が急ピッチで進められています。

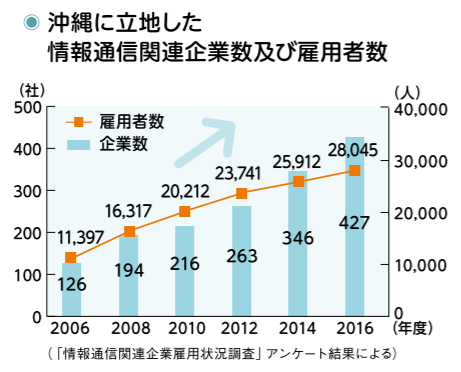


Q3

具体的に、どんなことを進めているの？

例3 IT戦略

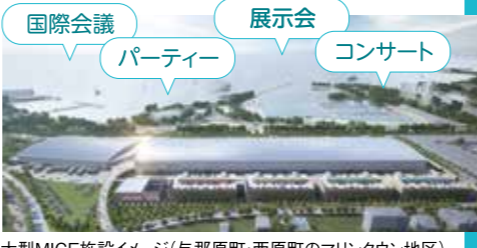
うるま市東部の「沖縄IT津梁パーク」には大手IT企業が入居し、沖縄県のITブランド力向上やIT産業高度化の拠点として稼働しています。加えて今夏には、ITの活用による沖縄の産業全体の振興を図るため、「沖縄ITイノベーション戦略センター」が設立予定です。



沖縄IT津梁パーク



沖縄をITの一大拠点に！



大型MICE施設イメージ(与那原町・西原町のマリンタウン地区)

例2 MICE(マイス)誘致

「MICE」とは、国内外から多くの集客が見込まれるイベント等の総称です。地域への経済効果のみならず、人や情報の交流によって新しいビジネスチャンスが生まれます。沖縄県は2026年には、1,000名以上が参加するMICEを年間230件開催、890億円の経済波及効果を目指しています。



Q1 ひとで言うとなんか構想？

アジア諸国が急激な経済成長を遂げている今、東アジアおよび東南アジアの中心に位置する沖縄は、その地理的優位性と独自の風土や文化を活かし「日本とアジアをつなぐ架け橋」となることが期待されています。物流、観光リゾート、航空、情報通信、ものづくりといった産業を強化し、沖縄の経済的発展を加速させていきます。

成長するアジア市場を取り込み、沖縄に新たなビジネスチャンスを生み出そうという構想だよ。

企業

地理的にアジア諸国と近いことなどを活かし、国内外企業を惹き付け、ビジネスのアジア地域の拠点を目指します。

サービス

豊かな自然や文化、ちむぐくるや健康長寿など、沖縄のソフトパワーを活かし、世界トップレベルのサービスを提供します。

情報

IT環境のインフラ整備をはじめ、企業活動に必要なあらゆる情報が国内外から沖縄に集まります。

モノ

日本・世界中から優れたモノが沖縄へ集められ、県産品とともに、海外市場へ届けられる体制を構築します。

人

観光客のさらなる増加をはじめ、ビジネスで人を呼び込むことにより、人の往来が増え、世界中の交流拠点を目指します。



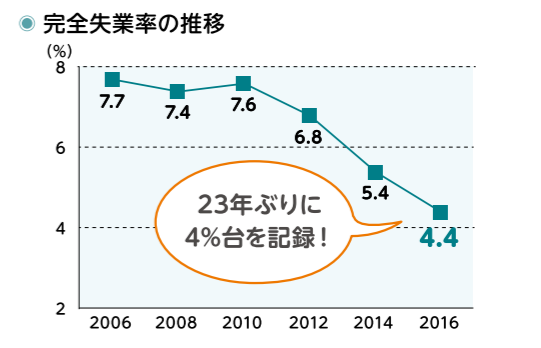
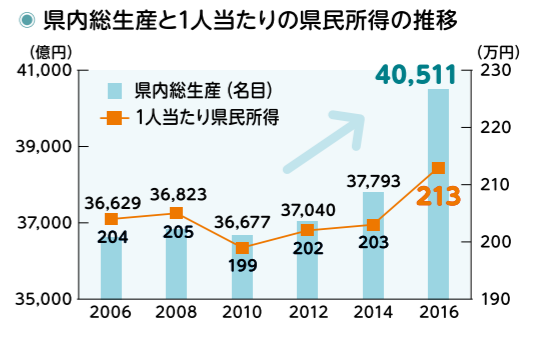
世界中から沖縄に集結!!



Q2 私たちにどんないいことがあるの？

県がこれまでに取り組んでいる産業政策に加えて「沖縄県アジア経済戦略構想」を推進していくことで、経済が大きく成長することが期待されます。県内の景気は、好調なインバウンドをはじめ、県全体として拡大しており、雇用・所得も一段と改善しています。2016年度の一人当たり県民所得は約213万円で、2年前と比較し、約10万円増加しています。また、さまざまな産業で新たな雇用を生み出し、完全失業率の改善につながっています。

所得の向上につながって私たちの暮らしが豊かになるよ。



Q4 もっと理解を深めるためには？



「沖縄県アジア経済戦略構想」特設サイト
<https://www.asia-keizai.okinawa/>

「沖縄県アジア経済戦略構想」の特設サイトができました。タレントのりゅうちぇるさんがナビゲーターを務めた特別番組の動画や、県が発行している冊子がアップされており、県内各地の将来像を紹介しています。

動画やパンフレットで紹介しているよ。

アジケイコンペが開催されました!

高校生から新卒社会人までを対象に、県内企業が抱えるアジア戦略課題を解決するビジネスアイデアを募集しました。若者ならではの視点でさまざまなアイデアが発表され、優秀賞受賞者は2泊3日の海外研修に参加しました。



「沖縄県アジア経済戦略構想」って知ってる？



沖縄県が進めている政策について知るとともに、沖縄の未来の可能性を考えてみましょう。



シーサー先生が教える

世界とつながる講座